

令和 7 年 2 月

■一般文学

「仕立屋王子の謎解きデザイン帖」

・著：栗栖 ひよ子

・出版者：マイナビ出版

ここは知る人ぞ知る老舗の仕立屋。毎日のように服にまつわる謎が持ち込まれます。仕立屋を舞台にした、お仕事ミステリーです。

主人公の糸は、デザイナーになれず販売員を続けていた 20 代の女性。ちょっとしたきっかけで、クールな店主が経営する仕立屋の見習いに転職することになりました。

今回、仕立屋に持ち込まれる謎は 6 着分。1 着目は糸本人、2 着目は推しのためにコスプレ衣装を作りたい男の子、3 着目は 10 歳記念のステージ衣装を依頼に来た天才ふたご、など…。

どのケースでも、服にまつわる謎が解決されたことで、これからの人生が変わっていきました。そして、来店するお客様たちが持ち込む問題を店主と解決していくことで、糸自身も少しずつ成長していきます。

（対象：高校生から）

■一般書

「さすがに日本は、戦争なんてしないですよ!? ～そもそも戦争ってなんですか?～」

・監修：西谷 修

・出版者：東京新聞

この本のタイトルの問いかけに皆さんは、どう答えますか。ロシアとウクライナの戦争や北朝鮮のミサイル発射、パレスチナとイスラエルの対立などテレビや新聞で報道される世界のニュースって、よくわからないことが多いですよ。

この本は人類の歴史をたどりながら、あらためて戦争がどのように起きてきたのかをわかりやすい会話形式で解説しています。日本には全く関係ないことだとは言っていただけません。「台湾有事って、なにが起きそうなの?」など、考えられる戦争の危険性を身近に知るとともに、あらためて戦争がどういうものかを考えてみるきっかけになります。

（対象 一般）

■児童書

「ざんねん?びっくり!文房具のひみつ事典」

・著：ヨシムラ マリ

・監修：高畑 正幸

・出版者：講談社

“文房具を知れば、人類発展の歴史がわかる!?”

わたしたちにとって、身近な存在の文房具。どんどん便利になり進化している文房具は、いろいろな壁を乗り越え、工夫をこらして人間が作ってきました。

誰が最初に作ったのか? なぜ作られたのか? どんなしくみになっているか? 他にも、昔あった謎のアイテムや、じつは…といった、知ってびっくりの文房具のひみつがたくさん紹介されています。

（対象 小学中学年から）

■絵本

「かってもまけてもいいんだよ ～ガストンのソーシャルスキルえほん～」

・ぶん・え：オーレリー・シアン・ショウ・シーヌ

・やく：垣内 磯子

・出版者：主婦の友社

ガストンは気分によってたてがみの色が変わるちいさなユニコーンの子です。ある日、友だちと外でサッカーをして遊んでいたとき、シュートがうまく決まらず、周りに笑われてしまいます。気分転換にお父さん、お母さんと遊んでも、自分の思うようにできず、嫌な気分になってしまいます。そして溜まりに溜まった嫌な感情が吹き出してしまいます。うまくいかないとき、何を大切にすることが良いのでしょうか。

「ガストンのソーシャルスキルえほん」シリーズは、色々な感情に合わせたシリーズ絵本です。自身の色々な感情と向き合いながら、社会で楽しく過ごすためのきっかけとしておすすめです。

（対象 3 歳から）